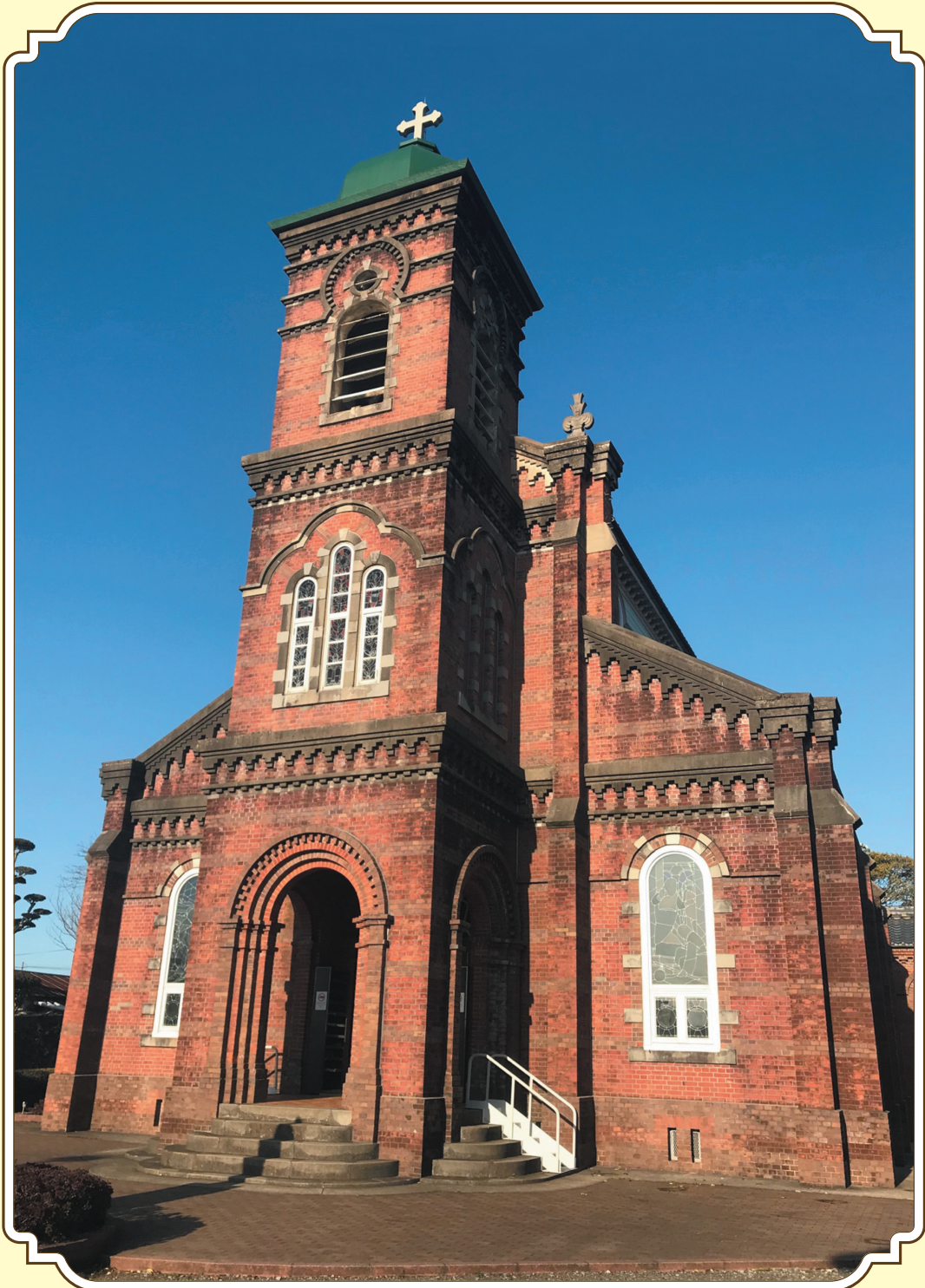


カトリック田平教会
献堂百周年記念ミサ



2018年5月13日(日)

カトリック田平教会
献堂百周年記念ミサ

2018年5月13日(日)

田平教会献堂百周年の祈り

すべての始まりを与えてくださる全能の神よ、

▼田平教会献堂百周年にあたって祈ります。

ひやくにじゅうねんまえ
百二十年前、

小さな移住信徒から始まった田平の神の民は、
数を増し、基礎が固まり、祈りの家が必要となりました。

そこで平戸瀬戸を見下ろす高台「瀬戸山」に、
労苦してレンガ造りの聖堂を建てました。

この神の家は、献堂されたときからずっと

「山の上にある町・人々の前に輝くともしび」でした。

田平教会の神の民がこれまで歩んできた道を思い起こして祈ります。

父なる神よ、聖堂を建設した時の熱意を、

これからも私たちの上に燃え立たせてください。

奉仕を陰で支えた祈りの声が、

これからもこの家に響き渡るよう聖霊を注いでください。

私たちも、この聖堂を祈りと賛美の歌がこだまする家にします。

この家がすべての人のともしびとなり、

宣教の拠点となるよう努力します。

聖母よ、私たちのこれからの歩みを見守ってください。

主イエスよ、

どうか私たちの祈りを父なる神に取り次いでください。

アーメン。

目 次

田平教会献堂百周年の祈り	1
目 次	2
献堂百周年記念ミサ式次第	3
聖歌（祈りは未来へ）	15
田平教会の歩み	19



祈りは未来へ

♩. = 50



1. ひゃくさんじゅうねんまえこのとちをーめざしたり
2. かみのたみのねがいはいひとつのおもいとない
3. ともしびはーけさないかねのねはたやさない



せんーぞたーちはちいさなかみのたみ
せとやまのおかにつちおとひびかす
ひゃくねんのときのあらしもおーもい



ちいさなかみーのたみはひかりにみーちびかれ
せとーのはーまべからひさこびあげーたレンガは
かみのたみのこころをせいいれいがあつくもやし



かーずをーましかみのいえねがう
ひとつひとつがささーげたいのり
いのりとさんびがこのいえにひびく



いのりはみらいーへこのいえに
いのりはみらいーへこのいえが
いのりはみらいーへこのいえの



いのりとーさんびがこだまするようにな
ひとびとのともくしびんであたるように
であーいがふくいんをかたるようにな

百三十年前 この土地を目指した
先祖たちは 小さな神の民
小さな神の民は 光に導かれ
数を増し 神の家願う

祈りは未来へ この家に
祈りと賛美がこだまするように

神の民の願いは 一つの思いとなり
瀬戸山の丘に 槌音響かす
瀬戸の浜辺から 運び上げたレンガは
一つひとつが ささげた祈り

祈りは未来へ この家が
人々のともしびであるように

ともしびは消さない 鐘の音(ね)は絶やさない
百年の時の 嵐も思い
神の民の心を 聖霊が熱く燃やし
祈りと賛美が この家に響く

祈りは未来へ この家の
出会いが福音を語るように



第五部 感謝式

1. 主任司祭あいさつ
2. 大司教様あいさつ
3. 感謝状・記念品 贈呈
4. 実行委員長よりお礼の言葉

派遣の祝福

司 主はみなさんとともに。

全 また司祭とともに。

司 全能の神、父と子と聖霊の祝福がみなさんの上にありますように。

全 アーメン。

司 田平教会献堂百周年記念ミサを終わります。行きましょう。主の平和のうちに。

全 神に感謝。

退堂



～田平教会の歩み～

○1886年(明治19年)

ラゲ神父様が黒島より辻 小一・瀬崎 藤次郎・永井 土井蔵とその家族を、ド・ロー神父様が出津より今村 丈吉・島田 徳蔵・山口 増太郎・岩上 浅衛門とその家族を横立に移住させた時に始まる。

○1887年(明治19年)

ラゲ神父様の巡回により瀬崎 藤次郎宅で田平の地での最初のミサが捧げられた。

○1905年(明治38年)

片岡 高俊神父様着任、教会建設の準備を始める。建設資金の積み立てを始め、敷地の整備をおこない聖堂の青写真も描いていた。

○1914年(大正3年)

片岡 高俊神父様 生月に転任。

○1914年(大正3年)

中田 藤吉神父様 田平に着任
聖堂の建築計画を立て、資金不足の補填、資材の準備、建設用地の拡張等の準備にかかる。当時の信徒数1000名余り(現在の平戸口・西木場教会に所属する地域も田平教会の司牧範囲であった。)

○1915年(大正4年)

12月28日教会敷地拡張工事中土砂が崩壊し6名が生き埋めとなる事故が発生、2名の方が犠牲になられた。(大木 勘次郎氏 浜口 久衛門氏)

○1916(大正5年)

鉄川組 鉄川 与助氏を棟梁とし中田 藤吉神父様、信徒の労働奉仕、近隣教会の協力を得て教会建築が始まる。

○1918年(大正7年)

5月14日 献堂式。コンパス司教様の司式により日本26聖人殉教者に献げられる。最初の移住から32年後、建設工事に着手して2年余りの慶事であった。

○1921年(大正10年)

教会小祭壇、御心のマリア像設置フランス製で当初色は塗られておらず、後に色付けされた。

○1923年(大正12年) 十字架の道行き御絵設置

○1931年(昭和6年)

2月10日 教会堂の鐘「アンゼラスの鐘」フランスより届き早坂司教様により祝聖「幼き聖テレジア」と命名され、2月11日早朝6時最初の鐘の音響きわたる。

○1939年(昭和14年) 信徒移住50周年

○1958年(昭和33年) 教会正面に聖母像建立(ルルドの聖母出現100年を記念して)

○1968年(昭和43年) 田平教会献堂50周年

○1981年(昭和56年) 教会正面聖母像立替え(当時の教皇ヨハネ・パウロ2世の来日を記念して)

○1986年(昭和61年) 信徒移住100周年

○1989年(平成元年)

教会上部ステンドグラス取替え(ドイツ イーゼル社製 マキシミリアノ・バルトズ作)

○1990年(平成2年)

教会ルルド・納骨堂完成、島本大司教様 祝別。

○1998年(平成10年)

教会下部ステンドグラス取替え(イタリア アレッサンドロ・グラッシ社製)

○2003年(平成15年) 国の重要文化財に指定される。

○2018年(平成30年) 5月13日

田平教会献堂100周年記念行事・ミサ

MEMO

